

【2】1級の出題ポイントと弱点

◆1級の出題ポイント <出題欄の◎は計算問題あり>

ご存知のとおり、1級は管理者・工場長が受検対象です。そのため、「役割」では『マネジメントサイクル管理力』や『管理者としての適性』といった通常の管理に加え、『経営志向領域』や『日本の経営風土特性』など、第一線監督者やリーダーには求められていない、経営という大きな視野や、全体最適の志向、またその視点で日々のマネジメントを実践しているかを確認する問題になっています。

「役割」以外では、「品質」は『品質とコストのバランス』『工程能力指数の定義』『管理図における異常状態判定の着眼点』『AQLの定義』『標準化と規格化』、「コスト」は『損益分岐点』『売上差異分析』『改善可能な作業比率』、「納期・生産管理」は『キャッシュコンバージョンサイクル』『販売計画の立案』『在庫計画』『サプライチェーンマネジメント』、「安全・環境」は『OHSAS18001』『安全文化』『環境と経営の両立』『環境効率』など、いずれも管理者必須の項目が出題されています。以下の内容を参考に、繰り返し復習し、生産マイスターの管理者として活躍していただきたいと思います。

単位	章	節	ページ	分野	出題	出題数	配点
第1単位	2	企業経営の目的・構造・業績		役割		9	18
		2.2 企業経営の三次元構造	16-19		○		
		2.3 経営構造の原動力	20-23		○		
	4	組織と機能		役割			
		4.2 組織と機能分担構造(組織形態)	46-54		○		
		4.4 組織の責任と権限の枠組み	57-62		○		
	5	管理者と行動科学		役割			
		5.2 日本の経営風土特性	71-74		○		
		5.4 管理者としての適性	80-84		○		
	6	管理者に求められる行動		役割			
6.2 管理者の役割と行動		89-93		○			
第2単位	1	原価管理の構造		コスト		14	33
		1.1 工場業績と原価管理	2-7		◎		
		1.2 コストマネジメントの構造	8-13		○		
	2	コストマネジメントとしての標準原価と予算管理		コスト			
		2.3 予算とその経営的機能	36-43		◎		
	3	設計・生産準備段階のコストマネジメント		コスト			
		3.1 設計変更ロスとコスト面から見た設計部門の特性	54-60		○		
		3.2 設計段階におけるコストマネジメント	61-71		○		
		3.3 生産準備段階のコストリダクション	72-78		○		
	4	生産段階のコストリダクション		コスト			
4.1 コストリダクションとコスト変動の認識		82-85		○			
4.2 工数削減と効果		86-93		◎			
第3単位	1	経営と品質		品質		10	18
		1.2 経営課題としての品質	5-12		○		
		1.4 品質ビジョンと品質戦略	16-22		○		
	2	工場における品質保証と工程管理		品質			
		2.2 工程能力	31-34		○		
		2.4 管理図と工程管理	40-45		○		
		2.5 統計的品質管理	46-56		◎		
3	品質のための4M管理		品質				
	3.4 標準化と規格化	75-80		○			
第4単位	1	生産管理の目的と役割		納期・生産管理		9	19
		1.2 生産管理とキャッシュフロー	5-10		◎		
	2	生産管理の機能とポイント		納期・生産管理			
		2.1 販売計画と受注管理	14-18		○		
		2.2 在庫計画	19-25		○		
		2.3 生産計画と統制	26-34		○		
	3	サプライチェーンマネジメント(SCM)と今後の課題		納期・生産管理			
		3.1 サプライチェーンマネジメント(SCM)の意義と対象範囲	46-53		○		
		3.2 サプライチェーンマネジメント(SCM)改革	54-64		○		
	4	労働安全衛生マネジメントと安全文化の醸成		安全・環境			
		4.2 労働安全衛生マネジメントシステムの構築	76-78		○		
		4.3 安全文化の醸成	79-84		○		
	5	環境マネジメントシステムの有効活用		安全・環境			
5.1 環境と経営(QCD改善)の両立		88-90		○			
5.2 環境マネジメントシステムを有効に活用する方法		91-93		○			
5.3 環境と経営の両立に役立つツール		94-99		○			
計						50	100

◆1級の分野別得点率と弱点項目

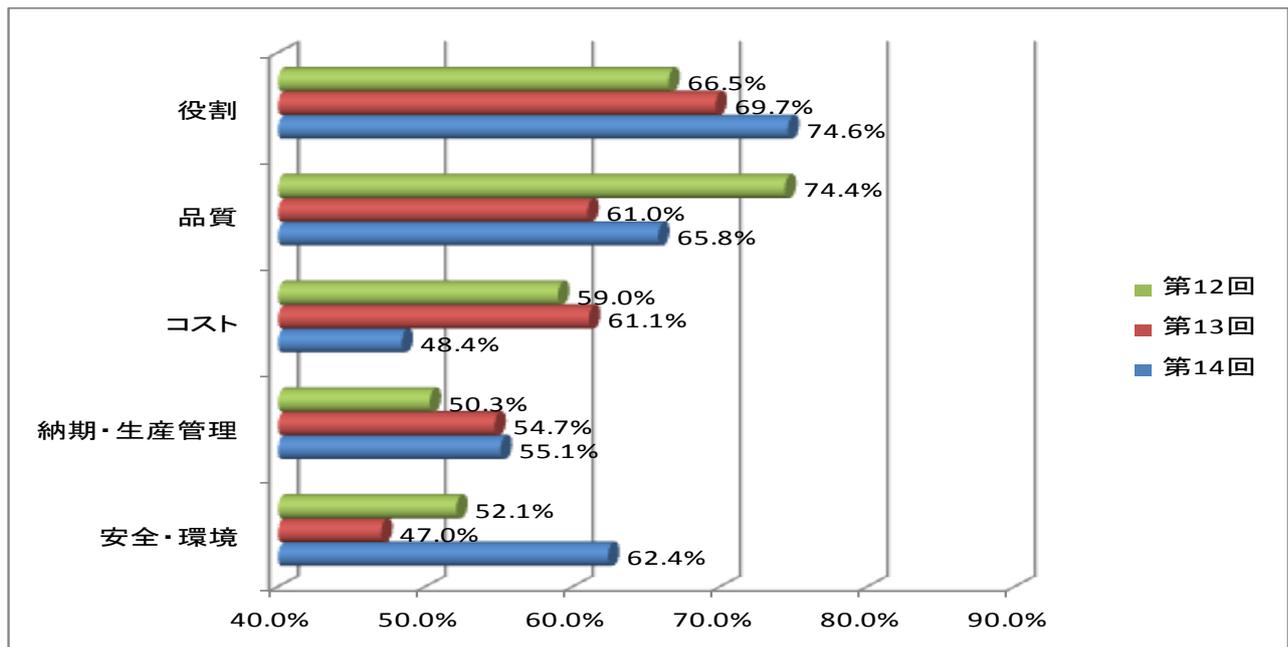
第14回は、4分野（「役割」「品質」「納期・生産管理」「安全・環境」）の得点率が第13回よりも上がったのですが、出題数・配点が高い「コスト」が大きく落ち込んだ（61.1%→48.4%、マイナス12.7ポイント）ため、残念ながら第13回に比べて1.0ポイントしか合格率が上がりませんでした。

分野ごとの詳細を見ると、「品質」は『管理図における異常状態判定の着眼点：第3単位 P44』『実験計画法の実施上の注意点：同 P51』、「コスト」は『原価構造における機会ロス：第2単位 P6』『売上差異分析の計算：同 P42-43』『設計変更ロス：同 P54-58』『生産準備段階のコストリダクション：同 P72-74』『コスト変動の認識：同 P82-85』『工数削減：同 P88-93』、「納期・生産管理」は『キャッシュコンバージョンサイクルの計算：第4単位 P9』が芳しくありません。（なお、「役割」「安全・環境」は、きわだった弱点項目はありません。）

その他として、『信頼性管理のポイント：第3単位 P53』『進捗管理のポイント：第4単位 P33』『環境効率の指標：同 P97』は、正答率が50%前後なので、一つひとついねいに復習してください。

また、例年正解が低いキャッシュコンバージョンサイクルは、自社の状況を鑑みて、改善・改革を進める際の基礎データです。管理者・工場長たる1級の必須要件として、完全に理解してください。

●分野別得点率



●キャッシュコンバージョンサイクル

・キャッシュコンバージョンサイクルの計算

売上債権回転日数は $\frac{\text{売上債権額}}{\text{売上高}} \times 365\text{日}$

棚卸資産回転日数は $\frac{\text{棚卸資産額}}{\text{売上原価}} \times 365\text{日}$

仕入債務回転日数は $\frac{\text{平均仕入債務額}}{\text{売上原価}} \times 365\text{日}$

キャッシュコンバージョンサイクルは、売上債権回転日数+棚卸資産回転日数-仕入債務回転日数